

令和2年8月6日(木)  
国土交通省関東地方整備局  
企画部 施工企画課

## 記者発表資料

### 大学等の研究機関とのマッチングを開始します

国土交通省では、現場において解決したい課題（ニーズ）に対して、その課題を解決できる新たな技術（シーズ）のマッチングを行っております。

本公募は、産学のもつ先端的な技術を積極的に活用し、産学官連携による技術研究開発を促進することを目的とし、大学等研究機関が有する課題の解決に資する技術シーズを募集し、技術分野や課題毎に技術研究開発体制の構築を図るもので、関東地方整備局として初めての取り組みとなります。

#### 1. 技術テーマ（参考）

- 1) 社会インフラの維持管理の高度化
- 2) ビッグデータを活用した社会インフラの計画策定
- 3) 施工管理の合理化・省力化

2. 公募期間 令和2年8月7日（金）から 令和2年9月11日（金）まで

#### 3. 公募要領、応募様式

関東地方整備局のホームページより公募資料をダウンロードできます。  
(<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000191.html>)

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

企画部 機械施工管理官 にへい まさやす 二瓶 正康 TEL:048-600-1347(内線:3132)、施工企画課 建設専門官 きくち たかし 菊地 隆(内線:3456)

## （技術テーマ）

応募技術（シーズ）は、下記の取組1～3に示すいずれかに関するものを想定する。

### 取組1：社会インフラの維持管理の高度化

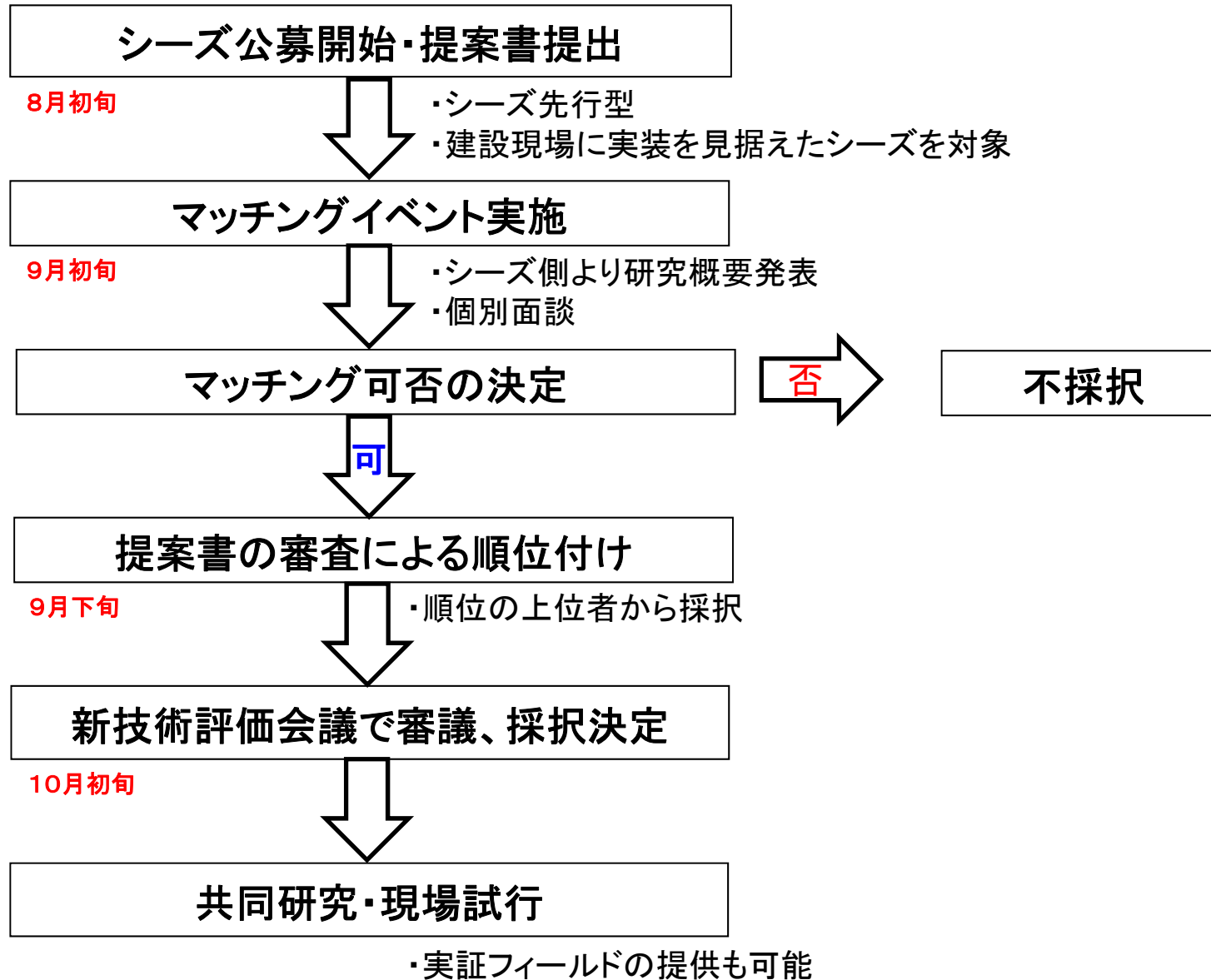
研究例：老朽化が問題視されている社会インフラストック（道路及び河川施設）において、安心・安全を確保しつつ、合理的な維持管理に寄与する新たな技術（画像処理技術、センサ技術、維持管理DB等）を活用した点検手法や的確な健全度評価、劣化診断・予測技術等の維持管理の高度化に関する研究

### 取組2：ビッグデータを活用した社会インフラの計画策定

研究例：Society5.0（AI、IoT、ロボティクス）が目指す超スマート社会の実現のための国土交通行政における社会インフラの整備及び管理の計画策定に関する研究

### 取組3：施工管理の合理化・省力化

研究例：デジタルツイン技術や最先端ワイヤレスネットワーク技術（5G, PrivateLTE技術等）を活用し、遠隔や山間部の建設現場においても生産性向上に資する施工管理の合理化・省力化技術に関する研究



## （応募者条件）

- ① 大学・高等専門学校等で技術開発・研究に従事する個人・組織であること
- ② 応募技術の開発に関して参画されている「個人」又は「民間企業」、「行政機関等」は自ら応募者とはなれませんが、「共同開発者」として申請することができます。

## （応募期間）

令和2年8月7日（金）から 令和2年9月11日（金）まで

## （マッチングの実施）

応募されたシーズに対して、関東地方整備局とのマッチングイベントを実施します。  
マッチングイベントではシーズ応募者にプレゼンテーションをして頂く予定です。

## （研究成果の公表）

マッチングが成立し委託研究契約を行った技術については、関東地方整備局のホームページで、研究開発公募の成果概要等を公表します。